

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回吉川市産業振興会議
開 催 日 時	令和3年11月17日(水) 午前10時00分から 午前11時15分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	【産業振興会議委員】 太田 久年、田口 政博、鈴木 努、生田 貴之、柏瀬 浩史 飯箸 幸弘、高木 淳、池田 憲一、西山 亜弥、妹尾 建二 吉川 真由、小林 千重(産業振興部長)
欠席委員(者)氏名	近藤 旭、石井 和也
担当課職員職氏名	産業振興部 商工課 課長 染谷 憲市 商工課 消費労政係長 會田 奈穂子 商工課 商工観光係長 東原 拓哉
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	○第2回吉川市産業振興会議 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 議題 (1) 産業振興計画の改定について 5. その他 6. 閉会 [公開・非公開] 公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開にした場合)	—
傍 聴 者 の 数	3人
会 議 資 料 の 名 称	1. 次第 2. 資料 吉川市産業振興計画改定案
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	池田 憲一、西山 亜弥
その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1. 開会
市長	2. 市長あいさつ 市産業の新型コロナウイルス対策としては、委員の皆さんをはじめ、事業者アンケートなどを通じ、総額2.5億円程度の予算を確

	<p>保し対応してきたところである。現在は、上限30万円の未来へチャレンジする事業者に対する支援を行っているが、特に、農業者の方に多く利用いただいていると感じている。そうした中で、本日の会議は、未来に向けた産業振興計画の改定に向けた最終段階となり、本日も忌憚の無いご意見をいただきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>3. 会長あいさつ</p> <p>川口市の事例として一つ紹介させていただく。女性デザイナーと障がいをお持ちの方々、さらに地域づくりの事業者が連携して作成したマスクケースについてである。様々な方々の連携という点で良いものと感じ、委員の皆さんにご紹介させていただいた。</p> <p>また、景況調査の中では、飲食、観光業が特に苦しい状況となっているが、他の業種についても、今後、物流の調達コストの上昇により様々な影響が出てくるものと感じている。本計画の中に、そういった変化への対応や新しい仕組みづくりを盛り込んでいければと考えている。本日もよろしく願います。</p>
<p>会 長</p>	<p>4. 議題</p> <p>会長より、会議録確認指定者として池田委員、西山委員を指名。 (兩名、了承)</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) 産業振興計画の改定について</p> <p>資料を用いて事務局から前回の会議や庁内会議において出された意見による修正部分について説明</p>
<p>会 長</p>	<p>【意見・質疑等】</p> <p>前回会議では特にITに関連した部分について活発な意見が出されていたが、その部分についても意見を求めている。</p>
<p>委 員 市 長</p>	<p>ITという部分に関しては、今回の修正について意見はない。</p> <p>前回、子どもの産業振興を通したまちづくりへの関心について意見を頂いていたが、その部分についてはどうか。</p>
<p>部 長  市 長</p>	<p>頂いた意見をもとに、「産業を通したまちづくりを育む機会を創出する」という文言で整理させていただいたところである。</p> <p>教育部で実施している3 day'sなどを通じて、日本や世界の産業構造を知る機会ということになり、頂いた意見も含め広く読める形で反映している。</p>
<p>委 員</p>	<p>次に、女性というキーワードではどうか。</p> <p>女性の働く場の創出という点では、特に「メンタルケア」が重要になると考えている。働く女性のメンタルを支えてあげることで、子の笑顔に繋がる。コロナ禍で特に大切な部分と感じており、</p>

部 長	<p>そのような環境づくりに力を入れていきたい。</p> <p>重要な部分であると考えており、計画の中では、多様な働き手の活躍の推進という部分で読み込んでいる。</p>
市 長	<p>庁内でも、男性の育児休暇の取得については、最近になり始めてきたが、もう少し進めていかなければならないと感じる部分である。</p>
委 員	<p>男性の育児休暇の取得が広がることで、女性の活躍に繋がるので、ぜひそのような環境の広がりを推進していただきたい。</p>
委 員	<p>周りの同世代の女性の話の中では、挑戦してみたいと考えている方が多くいるが、なかなか男性の理解が得られていない環境と感じている。そのような部分がもう少し進んでいけば良いと感じる。</p>
委 員	<p>産業を通じた教育の推進の中の将来の産業を担う人材の育成については、ICTリテラシーを上げていくということではなく、ICTを活用した人材の育成ということになると考える。子どもに限らず、市内事業者や市民のICTリテラシーを上げていくという点の記載はできないだろうか。</p>
事務局	<p>事業者に関わる部分としては、挑戦の推進の中で、先端技術の導入に係る相談支援の部分になると考えている。</p>
会 長 事務局	<p>市の中のICTの活用に関する部分はどうか。</p> <p>庁内のデジタル化については、DXの推進として情報担当の部署で推進している。また、上位計画である総合振興計画の中でも掲げられている。</p>
会 長	<p>今回新たに追加された部分で農業パークという文言が入っているが、この部分の追加の経緯について確認したい。</p>
事務局	<p>現在、土地利用の構想として都市計画マスタープランを策定しており、その計画との整合性を図るため、本計画の産業基盤の整備に、産業振興拠点と農業パークという文言を追加させていただいた。</p>
市 長	<p>農業パークについて話があったので、三輪野江地区のインター周辺の開発をはじめ、市内全体の開発について、地図を用いて説明させていただきたい。常磐道のスマートインターのフル化を見据え、南側を産業ゾーンとして、北側を農業振興の拠点として検討している。北側では、現在、農業者がイチゴ農園のハウスを設置しており、こうした民間活力と市の農業パーク構想により、新しい農業の在り方として進めていきたいと考えている。また、東埼玉テクノポリスの工業団地の拡張、東埼玉道路の延伸による須賀、榎戸地区、吉川美南駅東口周辺の地区の開発、さらに、東西の道路では、吉川橋からの道路の延伸や江戸川の防災ステーションの上面利用などが進められており、委員の皆様からも、何かア</p>

委員	アイデアなどがあればご意見をいただきたい。
市長	防災ステーションについては、建物を建ててしまうと、緊急時に撤去する必要があると感じる。
委員	建物を建てる場合は、緊急時の資材は埋設しない形となる。他の自治体でも建物を建てた事例はあったが、視察した際に、立地の場所なども関係しているが、避難施設としての活用は難しく、日常的な利用としてもあまり活用されていない印象であった。
委員	以前、市内の他の地域の話で子どものスポーツをする施設が不足している話があった。もし、このような場所で、上面利用できれば良いと感じる。
委員	計画の中の意見となるが、ITに関する内容として先端技術の導入に係る相談支援となっており、書かれている内容が、2歩先の話のように感じてしまう。もう少し、現状を分析し、現段階での内容としても良いのではないか。理想としては良いが少し難しいと感じてしまう。
市長	計画という点では、1歩でも2歩でも先を見据えていきたいと感じる。産業界全体が一気に底上げできるとは考えにくく、例えば、農業者の中にも積極的に取り入れていきたい方もいるので、サポート体制として、計画に位置付けたいと考えている。また、教育現場でも同様に、一人1台のタブレットを導入したからといっても、全体の活用が一気に上がるわけではなく、先頭を走っていく先生がいて、それが、他の先生にも少しずつ広がる。これは、産業界でも同様ではないかと感じている。
委員	具体的な部分を確認したい。
市長	まだ、具体的な部分という点では無いが、チャレンジする事業者をサポートしていく姿勢として示していきたい。
委員	趣旨について理解した。
市長	事業承継の部分についてはどうか。先日、市内事業者を訪問したが、その事業者は、他の事業者と資本提携となったが雇用が維持され、その事業が継続になったと伺っており、こういう形で集約が進んでいくと肌で感じている。
委員	事業承継の部分で言うと、今回の修正によりわかりやすく表現されていると感じる。前回の会議でも発言したが、第三者承継やM&Aなどが、今後主流になっていくものと感じている。
市長	従業員の共同経営など、新たな手法についてはどうか。
委員	動きとしてはあるが、なかなか難しい部分ではあると思う。経営者と労働者が同じ考えのもと同じ目的でやれるのかというと、分配や考え方の違いが発生してしまうなど、長期的に考えると、なかなか難しいようである。
委員	まずは計画全体として良いと感じる。また、市内事業者の経営

	<p>状況としては、原油高を起因とした様々な物価の上昇を懸念している。支援としては難しいところであるが、長期的に考えた際に、事業者の経営に大きな影響が出てくるのではないかと。また、海外からの輸入が滞っている状況で、材料や製品の調達に影響が出てきており、生産体制を国内へ戻す検討をしている事業者があると伺っている。</p>
<p>委員</p>	<p>計画に関しては、現行の計画を策定した際には入っていないSDGsの視点が盛り込まれるなど、新たな文言が追加され良いものになったと感じている。行動を起こす際には、何に基づいているのかが問われるので、広く読み込めるようにしておくことが大切である。市内の状況としては、廃業も多少出ているが、どちらかと言えば、次代の方が育っていると感じる。その先に、さらに繋がっていけるように今後も考えていく必要がある。また、市民アンケートをみると、多くの方が市を好きということが伺える。市民を巻き込みながら産業振興を進めていかなければならないのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>計画については良いと感じている。自社では、毎年、従業員を雇用しているが、市外あるいは県外からの転入者が多い状況である。現状は、定住に関する市の支援は無いが、そのような方々に吉川市の魅力を伝えていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>計画の進捗確認が大切と考えている。本計画と現状とのギャップが生じないか、何が出来て何が出来なかったのかを検証していく必要がある。</p>
<p>部長</p>	<p>計画の進捗状況については、この産業振興会議で検証いただく形である。具体的には、前回資料の中でお示ししたように、施策と連携した具体的な事業を報告し、ご意見を頂きたいと考えている。</p>
<p>会長 市長</p>	<p>本来は、そこに数値があればと考えるが、なかなか難しい。 産業の部分を行政的な指標で追いかけることは本質的な意味がないのではと考えている。取り組みを報告し、委員の皆様から様々なご意見をいただく中で、次に繋がる取り組みを検討していきたいと考えている。報告の際は可能な限り詳細に、例えば旭地区では、パパイアの生産に地域で取り組んでおり、休耕している農地の活用や生産されたパパイアが商業施設内の飲食店で活用されるなど新たな事業展開となっている。また、会長からご紹介を頂いた市内事業者と農業従事者、千葉大学と連携し、農福連携による事業展開を模索している。そういった事例について皆さんと共有していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>計画に関する農業という点では、いかに実行していけるかということが重要と感じる。水路などの整備はやはり大切であり、一</p>

<p>会 長</p>	<p>方で高齢化などの多くの課題がある。</p> <p>事業承継の部分の新たな手法という文言について、今回新たに追加となっているが、この部分の説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の会議の中で、従業員により会社を運営していく手法などを読み込んでいる。また、今後の承継に関する新たな手法も見据えてこのような記載となっている。</p>
<p>市 長</p>	<p>障がい者雇用について話をさせていただく。今、吉川市では、基金を設置し、障がい者就労をサポートいただける企業や就労へチャレンジする方が活用できる支援金として、来年の春の始動に向けて準備を進めている。地元で働けることを望まれている障がい者が多いので、事業者の輪を広げていきたいと考えているため、皆さんに情報提供をお願いしたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>行政の計画というものは、何か行動を起こす際の根拠となる部分であり、市長からもあったが、先を見据えた計画になっていると感じている。個別の具体的な取組みを書きってしまうと膨大な計画になってしまうので、大枠で捉え記載しているものと感じている。一方、教育という部分では、教育委員会、学校など様々な関係者の中で、産業振興を通したまちづくりを育む機会の創出というのは難しい部分と感じている。また、職住近接については、特に大切な部分で、子どもの頃を振り返ってみると、自宅近くの事業所で働く大人を見て、自分は良い大学に入り、都内に就職したいと当時は感じていたが、今は、良い会社が近くにあって、そこに就労できれば、通勤に係る時間を大幅に短縮できると感じ、良い会社が吉川にしっかりと根付いていくことが重要と考えている。最後に本計画の進捗については、取り組みなどをこの場でしっかりと報告し、良いアイデアを出し合いながら、市内の産業振興に繋げていきたい。それがこの場にいる私たちの責務だと考えている。</p>
<p>市 長</p>	<p>本日、委員より頂いた、AI、教育などについて、その事例を産業振興部で情報を集約しておくこと。それらをこの会議で報告し、より良い産業振興に繋がる取り組みを検討していきたい。</p> <p>最後に、市では、毎年就職面接会を開催しているが、今年度は、障がい者の雇用をテーマとしている。事業者もかなり興味を示していただいている状況であり、このような連携についても皆さんと共有していきたいと考えている。</p>
<p>事務局 会 長</p>	<p>その他</p> <p>今後のスケジュールについて事務局より説明。</p> <p>現在の、委員の任期は今年度末とのことである。この会議は、産業振興に関し、事業者と行政が意見交換を行うことが出来る良</p>

事務局	い場であると感じている。メンバーを入れ替えながら、継続して、市の産業振興について、様々な意見交換を行いながら進めていただきたい。  閉会
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。  令和3年11月30日  署名委員 池田 憲一（自署）                      署名委員 西山 亜弥（自署）	